



令和5年 台風6号の対応について

沖縄電力株式会社
令和5年12月4日

令和5年台風6号について

沖縄地方に襲来した台風6号は、速度も遅く、強い台風となり、約1週間にわたり台風の影響を受けました。

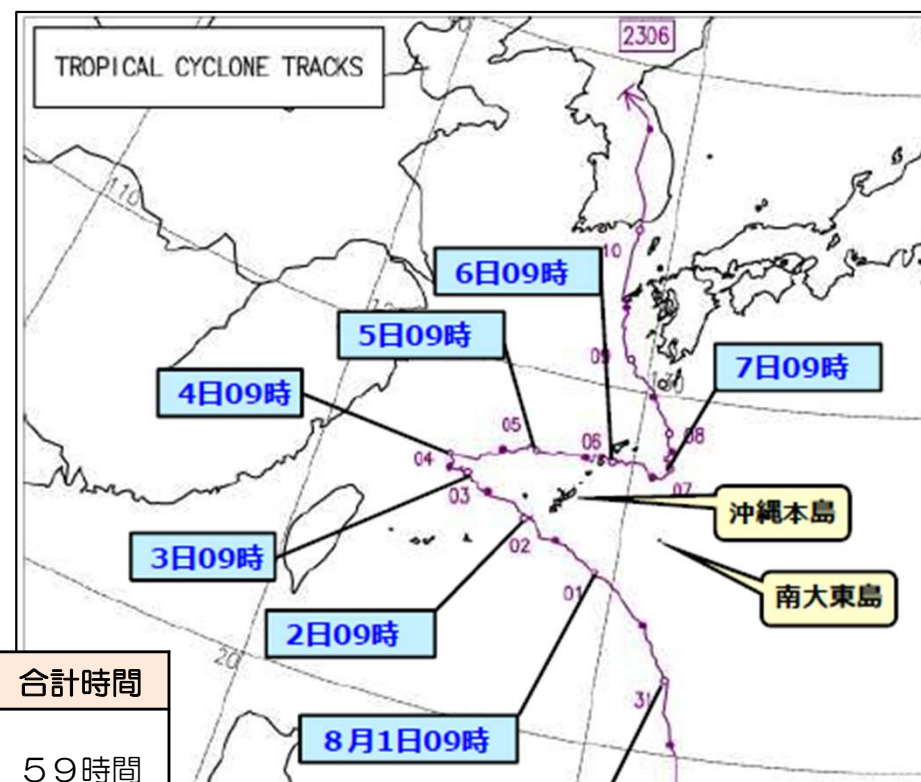
(1) 台風の特徴

①動きが遅くUターンした

- ・8/1～2：沖縄本島と宮古島の間を西よりに進み久米島の南西約40kmまで接近
- ・3～4：東シナ海で向きを西よりから東よりへ変えた。
- ・5～6：本島の北の海上を東よりに進み、再び本島地方や大東島地方へ接近

②暴風の期間が長かった

- ・風速30m/s前後の風が12時間程度(10分平均)
も継続して観測された(南城市：8/1(15時)～2日(12時))



(出典)沖縄気象台定例説明会資料

		入った日時	出た日時	入っていた時間	合計時間
沖縄本島地方	那覇	8月1日 11時頃	8月2日 23時頃	36時間	59時間
		8月5日 01時頃	8月6日 00時頃	23時間	
	名護	8月1日 12時頃	8月2日 18時頃	30時間	60時間
		8月5日 01時頃	8月6日 03時頃	26時間	
		8月6日 09時頃	8月6日 13時頃	04時間	
	久米島	8月1日 16時頃	8月3日 11時頃	43時間	72時間
		8月4日 13時頃	8月5日 18時頃	29時間	
宮古島地方		8月2日 04時頃	8月3日 09時頃	29時間	—
大東島地方		8月1日 03時頃	8月1日 17時頃	14時間	27時間
		8月6日 20時頃	8月7日 09時頃	13時間	

(出典)沖縄気象台 台風速報

令和5年台風6号について

③台風に伴う記録的な大雨となった

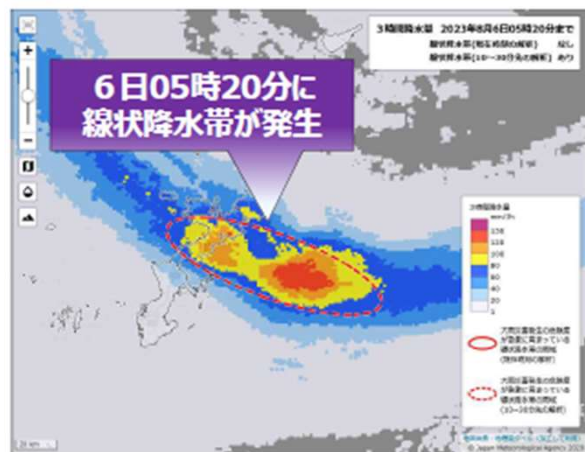
- ・久米島と那覇では、**8月の月降水量の観測史上1位**を今回の台風による雨量だけで大きく超えた

	降水量 (7/31:0時~8/8:15時)	これまでの1位
久米島町	791.5ミリ	2012年8月 : 606.5ミリ
名護市	739.0ミリ	—
那覇市	683.5ミリ	1937年8月 : 678.5ミリ

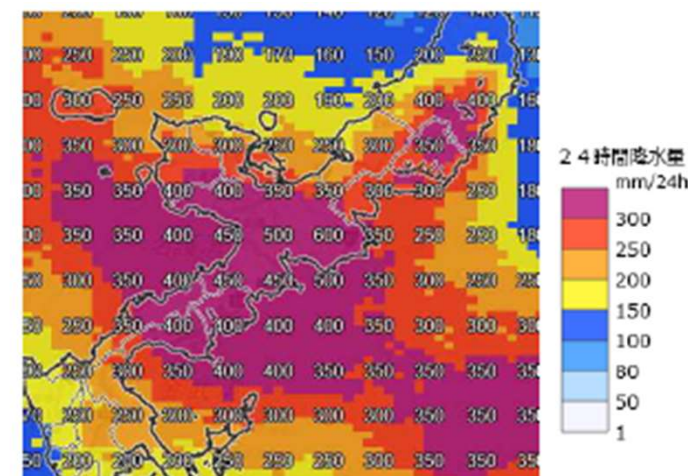
- ・また、最初の接近時は、2日 22時までの24時間に本島北部を中心におよそ350ミリの雨量を解析。

- ・2回目の接近時は、6日 22時までの24時間に本島北部でおよび600ミリ程度の雨量を解析。 400ミリ以上の範囲も広い

- ・8月6日 05時20分に**本島北部に線状降水帯**が発生した



6日05時20分までの3時間に解析された雨量



6日22時までの24時間に本島北部で
およそ**600ミリ程度**を解析。400ミリ
以上の範囲も広い。

台風6号は、復旧作業中に2度目の暴風域に入った事や復旧作業時間帯における大雨によって、復旧作業に支障をきたしていた。

(出典)沖縄気象台定例説明会資料

令和5年台風6号について

(3) 最大瞬間風速および最大風速について

観測地点		風速 (風向)	観測時刻
那覇	最大瞬間風速	52.5m/s (東南東)	8月2日 04時14分
	最大風速	30.9m/s (東北東)	8月1日 19時58分
宮古島	最大瞬間風速	39.0m/s (南西)	8月3日 06時17分
	最大風速	23.9m/s (南西)	8月3日 05時20分
南大東	最大瞬間風速	30.5m/s (東)	8月1日 02時10分
	最大風速	20.6m/s (東)	8月1日 02時20分

(出典)沖縄気象台 台風速報

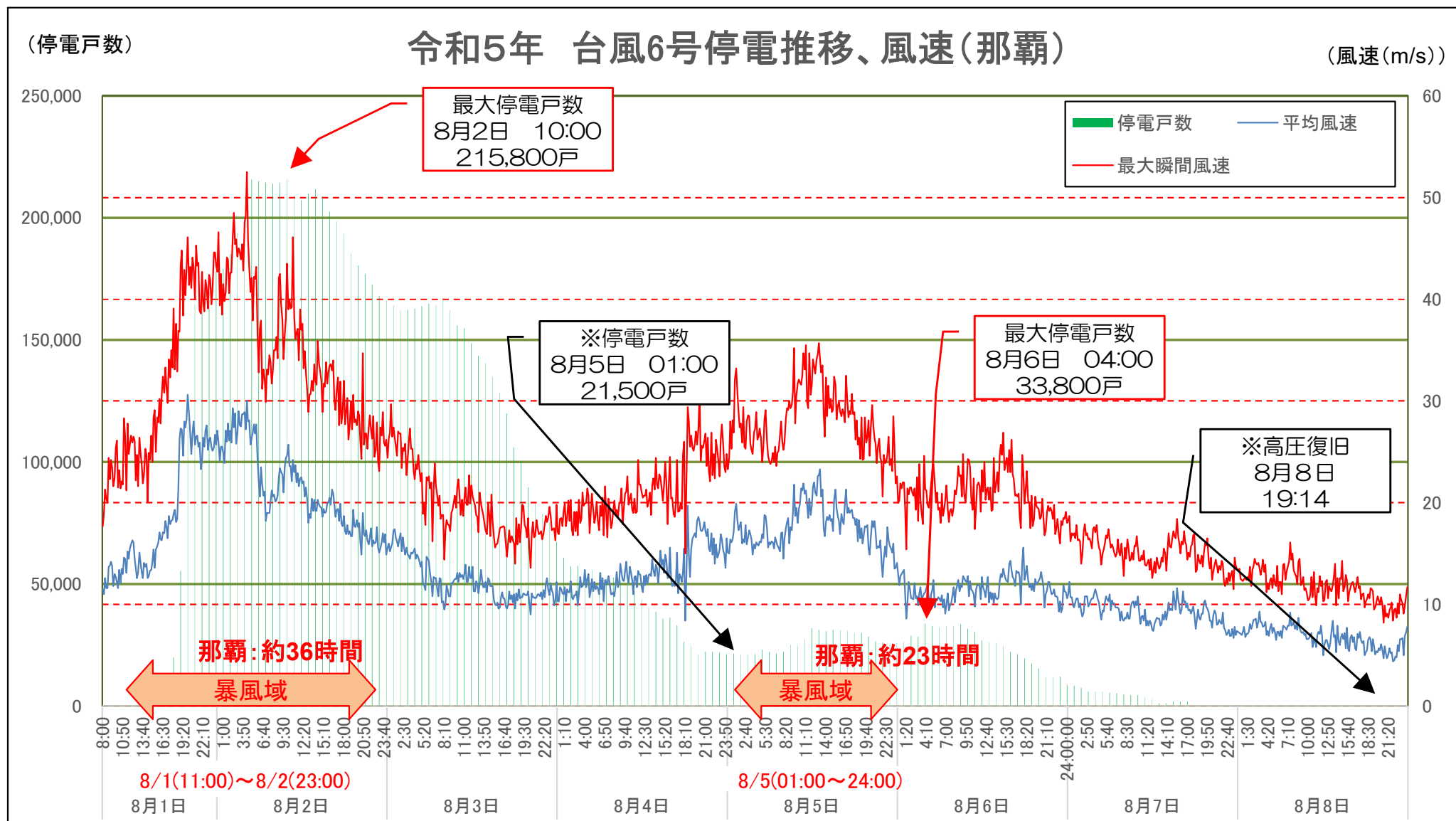
(4) 設備被害について

設備別	被害状況	
発電	被害なし	
送電	—	被害なし
変電	—	被害なし
配電	電柱破損(折損、倒壊) [本]	7
	電線断線(特高) [条・ヶ所]	0
	電線断線(高圧) [条・ヶ所]	258
	電線断線(低圧) [条・ヶ所]	129
	柱上変圧器破損 [台]	56
	高圧バインド、碍子被害【箇所】	2,229

令和5年台風6号について

(5) 停電推移

- ・ 停電戸数： 最大停電戸数 215,800 戸 (8/2(水) 10:00)
- ・ 高圧配電線復旧： 8/8(火) 19:14



令和5年台風6号について

復旧作業に向け、台風襲来前に周辺離島へ要員の派遣や間接部門などからの巡視者の配置を実施し、早期対応に備えておりました。また、襲来後も巡視対応および配電経験者の作業応援を行い、復旧作業を実施しております。

(1) 各支店周辺離島への事前派遣

周辺離島などへ事前派遣として、40名を派遣し作業にあたっております。

派遣元		派遣先	
部署名	合計		
那覇支店	22名	渡嘉敷（電工3名） 座間味（電工3名） 渡名喜（社員1名、電工3名） 北大東（社員1名）	阿嘉・慶良間（電工3名） 久高（電工2名） 栗国（社員1名、電工3名） 南大東（社員1名、電工1名）
うるま支店	4名	津堅（電工2名）	平安座（電工2名）
名護支店	4名	伊平屋（電工3名）	伊是名（電工1名）
八重山支店	10名	名護支店（社員1名） 黒島（電工1名） 波照間（電工2名）	竹富（電工1名） 西表東部（電工2名） 小浜（電工1名） 西表西部（電工2名）

令和5年台風6号について

(2) 事後派遣

①宮古および八重山支店からの応援について

宮古および八重山支店から本島への復旧要員として、23名が対応にあたった。

派遣元		派遣先
部署名	計	
宮古支店	10名	うるま支店（社員4名、電工6名）
八重山支店	13名	うるま支店（社員4名、電工5名）、名護支店（電工4名）

②渡嘉敷島および伊是名島への応援について

沖縄県へ渡嘉敷島および伊是名島への事後派遣のため、関係機関によるヘリ要請を行い、復旧要員を10名派遣し、対応にあたった。

派遣元		派遣先
部署名	計	
那覇支店	5名	渡嘉敷島（電工5名）【海上保安庁のヘリで派遣】
電力流通部	5名	伊是名村 【航空自衛隊のヘリで派遣】

（補足）渡嘉敷島および伊是名島への派遣時の対応について

沖縄県から「ヘリ調整会議」を設置し対応にあたる旨の連絡を受け、沖縄県ヘリエゾンを8月4日から派遣し、輸送先等の調整を行った。（リエゾン派遣期間：～8月7日）

ヘリ調整会議には、陸自15旅団、第十一管区海上保安本部、県警察と他の通信事業者が集まり、ヘリの運行可能となった時点で、作業要員等を輸送することとしていた。8月6日に運行の可能性があり、準備したが、天候不良により運行不可。翌日の8月7日に輸送を行った。

- ・本島から渡嘉敷島へ 第十一管区海上保安本部のヘリで要員および資機材を輸送
- ・本島から伊是名島へ 航空自衛隊のヘリで要員および資機材を輸送

令和5年台風6号について

③那覇支店への応援について

現場調査の対応として、沖縄電気保安協会から3名受け入れ対応にあたった。

派遣元		派遣先
部署名	計	
保安協会	3名	那覇支店

(3) 巡視応援

配電部門の一斉巡視対応として各部から支店に対し、68名を派遣し、作業にあたった。

(4) 配電経験者の応援

配電部門の復旧作業要員として、配電部門経験者を他の部署や社外から12名派遣し作業にあたった。

(5) 電話応援

当社では災害時にはNW営業、小売り営業協働で電話受付を実施しておりますが、更に間接部門から66名を派遣し電話対応にあたった。

令和5年台風6号について

(6) 台風6号(7/31~8/10)の対応実績

項目	対応状況
ラジオ放送 全69本 (うち県域21本)	7/29(土)「台風対策のお願い」県域2局,コミュニティFM16局 7/30(日)「台風対策のお願い」県域2局 8/7(月)「お詫びと復旧見込み」県域3局,コミュニティFM16局 8/8(火)「お詫びと高圧概ね復旧」県域3局,コミュニティFM16局
プレスリリース (170本)	第1報: 7/31(月) 22時 対策本部設置。 第2報: 8/1(火) 10時 停電発生に伴い発出。 最終報(高圧復旧): 8/8(火) 19時30分
HP	7/31(月) 本部設置に伴い「災害用画面」へ変更
X(旧Twitter) (174本)	7/31(月) 本部設置、8/1(火) 停電発生、チャット受付案内 ※プレスリリースに合わせ高圧復旧まで毎時発信 8/3(木) 以降、復旧作業の様子について定期的に写真・動画を投稿 8/8(火) 19時43分 高圧復旧報告、8/10(木) チャット受付による情報提供のお礼
Facebook (16本)	7/29(土) 台風対策のお願い、7/31(月) 台風対策のお願い・当社事前準備、災害対策本部設置、 8/1(火) 以降、8/8(高圧復旧)まで復旧作業の様子を発信、 8/8(火) 高圧復旧報告、8/10(木) 引込線断線による停電案内
ラジオ向け説明会を実施 (Web開催)	8/3(木) 15:00 記者向け(台風6号による被害状況および対応状況について) 参加: 新報, タイムス, 宮古新報, NHK沖縄, QAB, 共同通信, 日経, 朝日, 読売, 日本テレビ, 電気新聞, 日刊工業(12社)

説明会の様子(Web開催)



SNS発信

X(旧Twitter)やFacebookを活用し、事前対策や復旧作業の様子、毎正時の停電状況等発信しました。



X(旧Twitter)



Facebook

令和5年台風6号について

参考：航空自衛隊ヘリ

○伊是名島へ輸送時のヘリ写真



【那覇基地】

【伊是名ヘリポート】



(参考) 沖縄電力における台風対応について

1． 沖縄電力の概要

2． 災害時の体制

3． 災害への取組み（早期復旧施策）

4． 事前周知活動・情報発信

1. 沖縄電力の概要

東西約1,000 km、南北約 400 kmの範囲に沖縄本島を含む38の島々へ電気を供給しております。



2. 災害時の体制

【対策本部の設置および指令発令】

災害時における各指令発令や災害対策本部設置などのタイミングは、下表の通り。

なお、**台風が近づくと本島や先島の周辺離島などへの船舶は、早い段階で長期間、運休になるため、「配備・連絡体制」を発令し、台風襲来の数日（2,3日）前から応援（事前）派遣を実施しております。**

また、電話対応や復旧作業時の巡視運転手等については、台風規模に応じ事務系社員からの応援で対応しております。

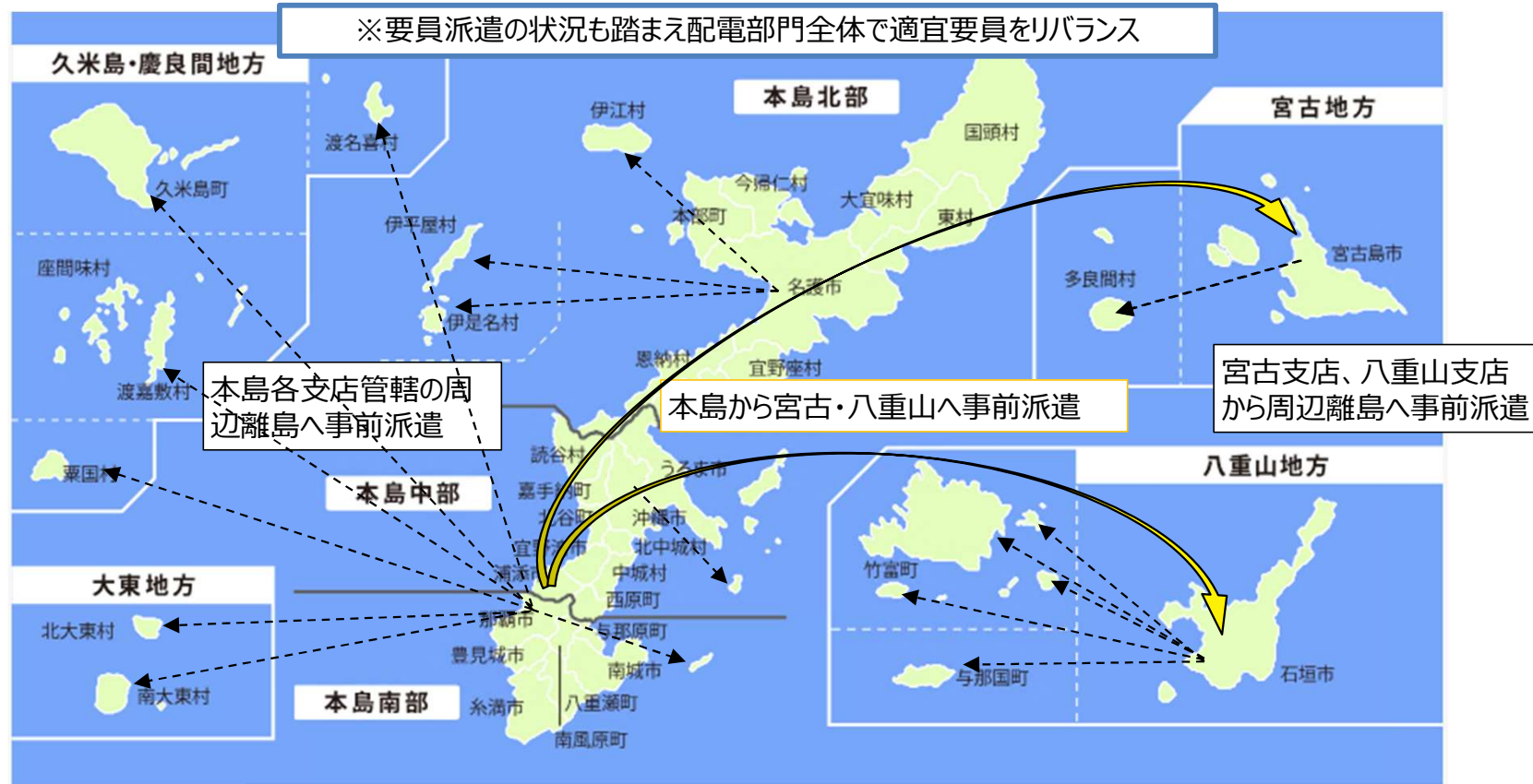
指令発令 タイミング	台風が発生し、沖縄に襲来する可能性ある場合	暴風域に入る 8時間前	暴風域に入る2時間前 (※)	暴風域から抜けた 時間
態勢	準備態勢		災害態勢	
各指令	配備・連絡体制	準備指令	警戒指令	処置指令
体制		災害対策本部・支部・支所設置		
対応内容	離島への 応援派遣	復旧資機材準備・要員配置	電話対応	
				復旧作業

(※) 暴風域に入る2時間前に災害対策要員を参集。(業務中で有れば、要員以外は帰宅)

2. 災害時の体制

【離島への応援派遣】

○先島地方や周辺離島に台風の接近が予想される場合は、**沖縄本島への進路予想・影響等を考慮し、本島から復旧要員の事前派遣**を行っております。また、**被害状況等に応じて、事後の応援要員も派遣**し復旧作業を行っております。



○車両の事前派遣については、所有台数に限りがあり、本島から先島地方へ配置後に台風の進路が変わった場合、本島の復旧作業に影響を及ぼす可能性があること、**車両を運搬するフェリーも台風襲来の前後3日～5日は欠航となることから要員派遣と比較して難しい状況**にあります。

2. 災害時の体制

【関係機関との連携】

陸上自衛隊第15旅団と当社は、災害協定を締結しており、事後の応援要員を派遣する際、**自衛隊等と連携して応援要員の派遣**を行っております。

実際、過去の台風においては、自衛隊ヘリで、応援要員や復旧に必要な資機材を空輸しております。

また、地元航空会社の協力もあり、**臨時便などを出す際は、応援要員を優先**して搭乗させて頂いております。

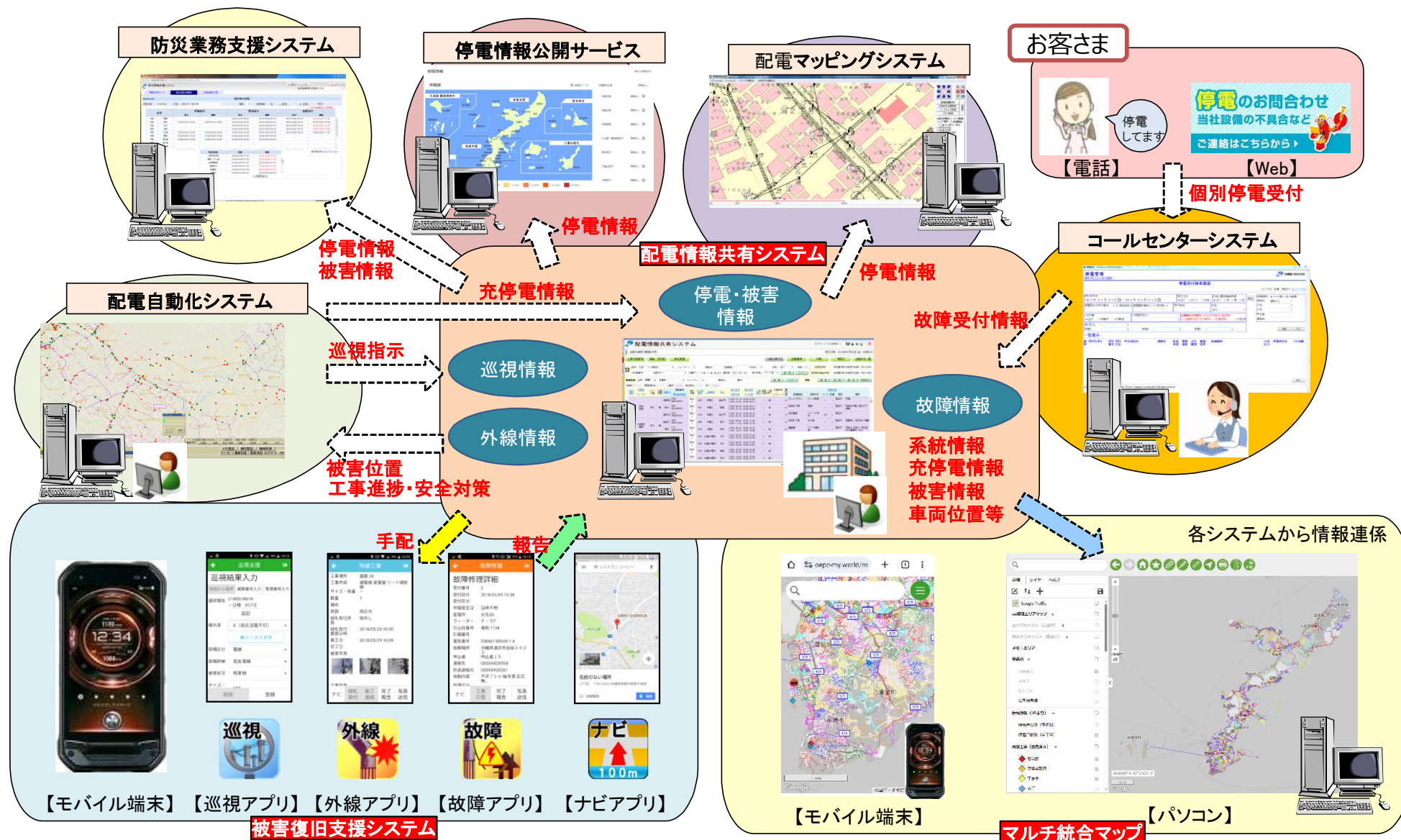


【平成28年 台風18号】

3. 災害への取組み（早期復旧施策）

【各種システムの連系】

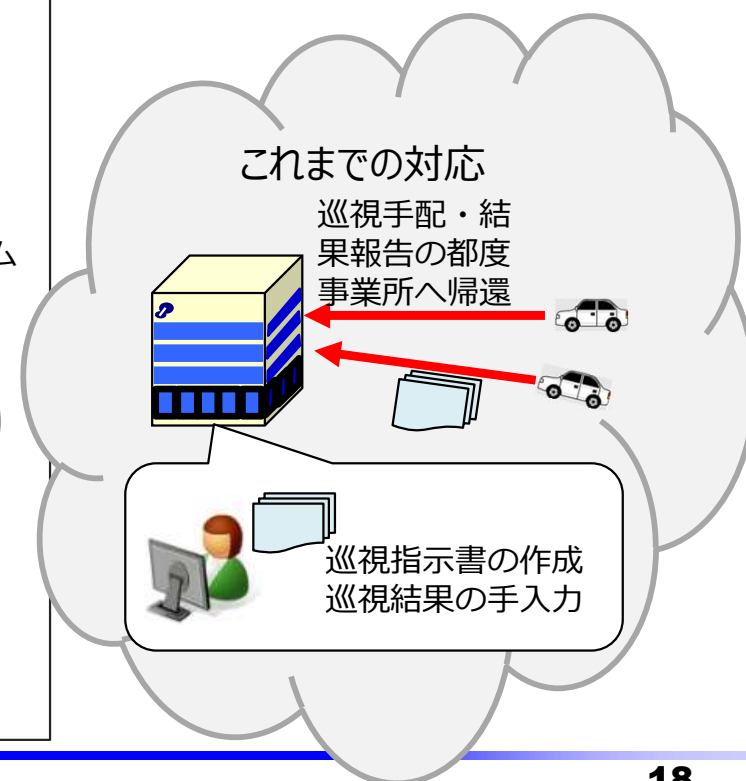
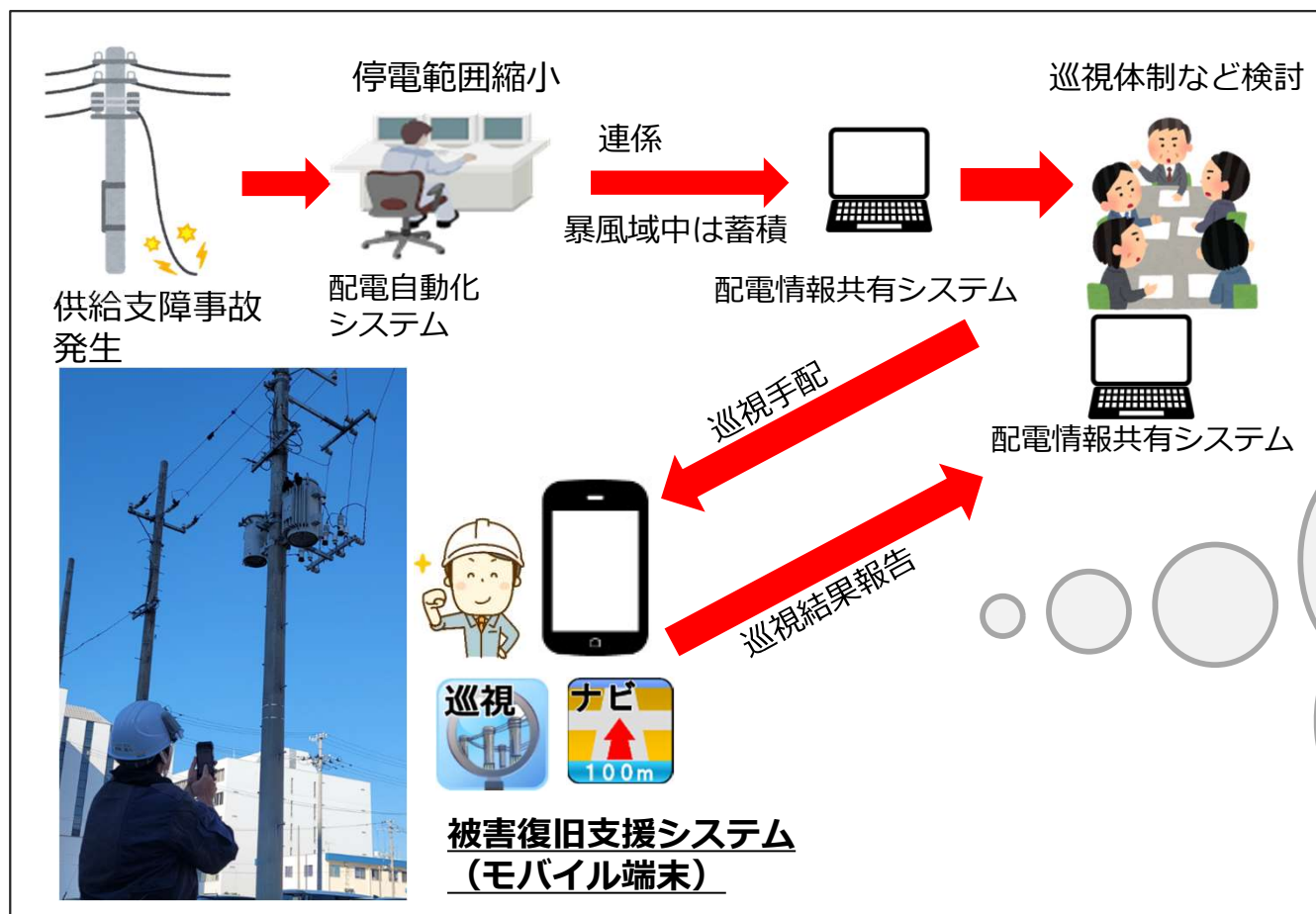
- ◆ 台風時の復旧支援、情報共有ツールとしてさまざまなシステムを連系するとともに、現場ではモバイル端末を活用することで早期復旧に向けて取り組んでいます。



3. 災害への取組み（早期復旧施策）

[巡視効率化]

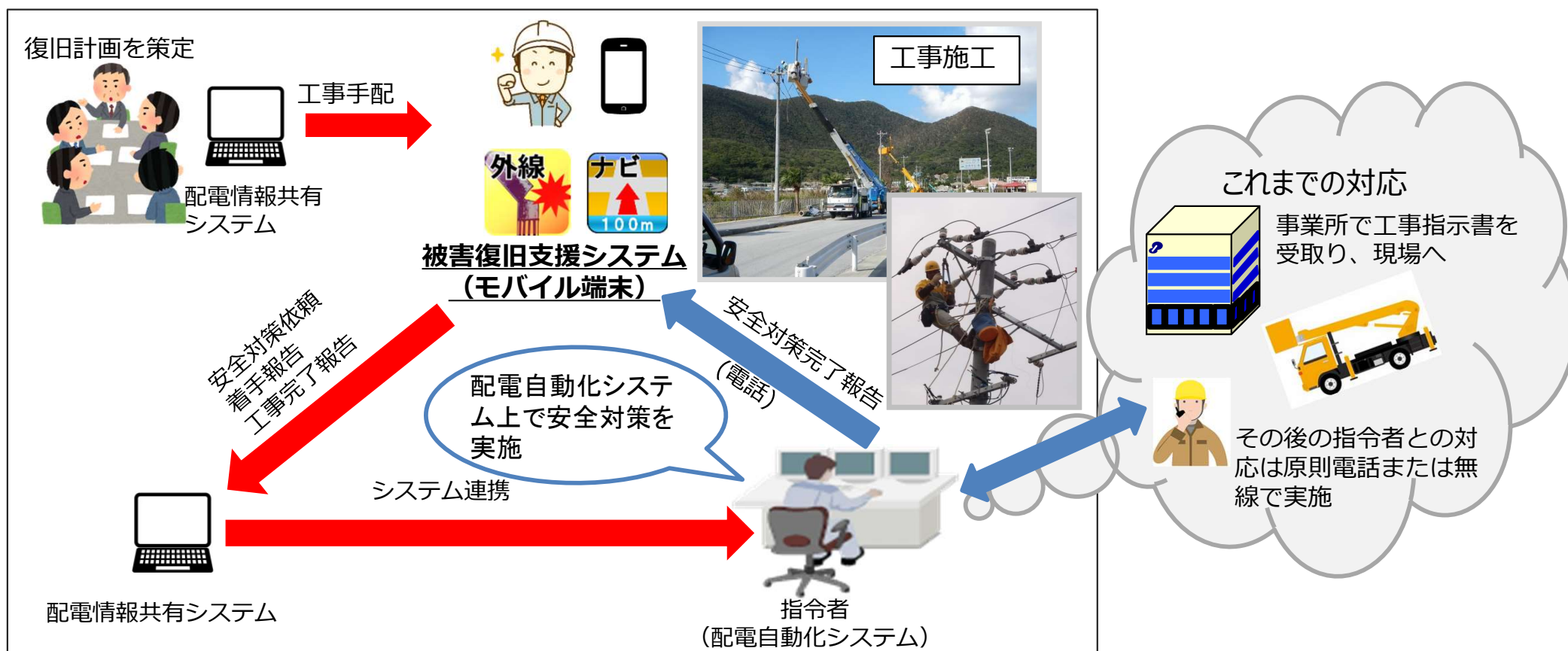
- ◆ 暴風中に発生した被害情報を配電情報共有システムに蓄積し、風雨が収まった後の巡視体制、人員確保、巡視の優先順位の検討などを行います。
- ◆ 風雨が収まり次第、停電が発生した配電線路を**一斉巡視**します。**事務系の社員も運転手に活用**するなどして最大要員で実施しています。
- ◆ これまでは紙ベースでの対応だったため巡視完了の都度、支店に戻って新たな指示を受けたり結果を別途システムへ手入力する必要がありましたが、**モバイル端末を活用した指示・報告を可能**にし効率化を図っています。



3. 災害への取組み（早期復旧施策）

[高圧線事故復旧効率化]

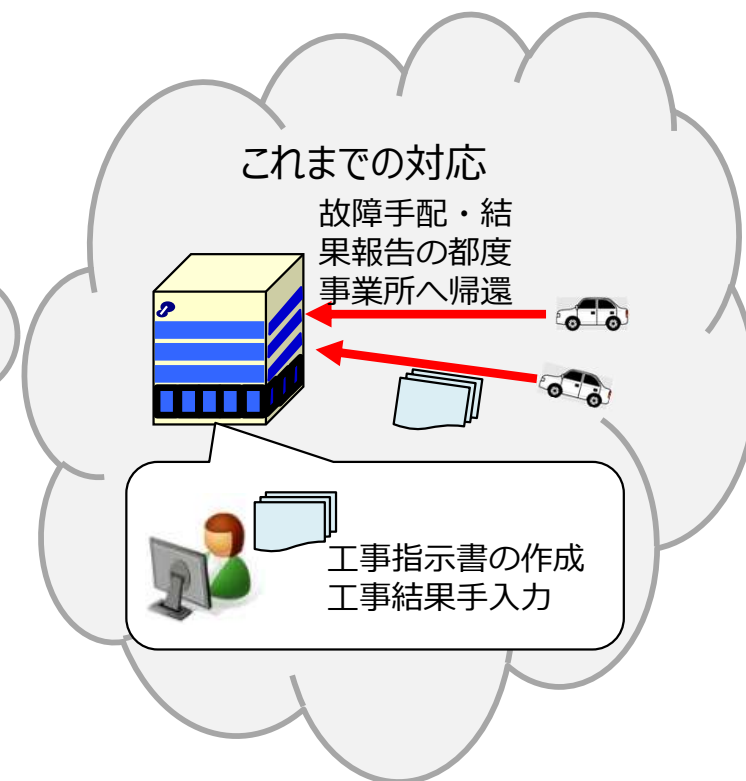
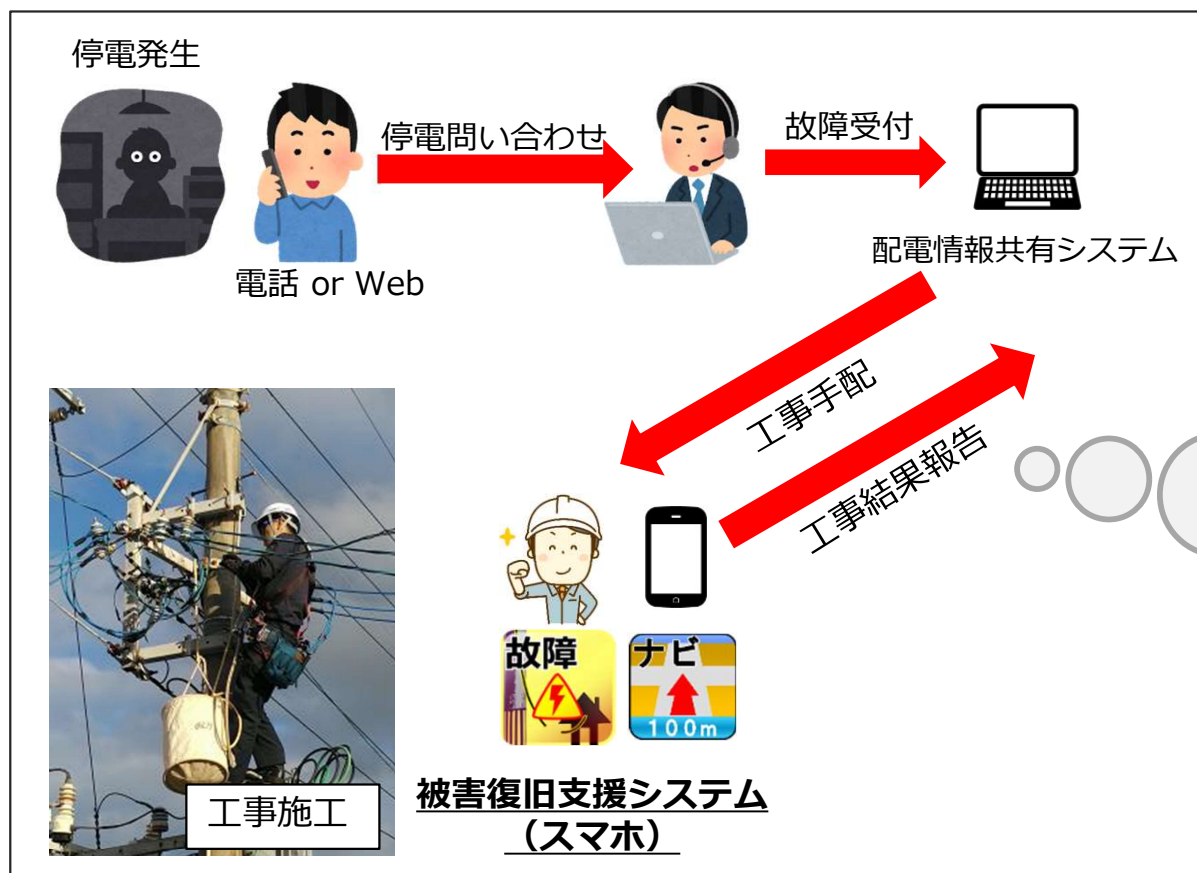
- ◆ 巡視で報告された被害箇所について配電情報共有システム、被害復旧支援システムを活用して工事手配、完了報告を行います。
- ◆ 復旧順位については停電戸数、停電による影響、被害状況等を総合的に判断し**効率的な復旧計画を策定**し、計画に基づき最大限の復旧体制を構築します。
- ◆ これまでは、工事の着手報告、完了報告等をすべて電話や無線を使用していたことから応答待ち時間等の発生により時間を要していましたが、**モバイル端末を活用することでより安全かつ効率的な工事**を可能としています。



3. 災害への取組み（早期復旧施策）

[個別停電復旧効率化]

- ◆ お客さま申し出による個別停電についても配電情報共有システム、被害復旧支援システムを活用して復旧作業を行います。
- ◆ これまでは各事業所から紙で一定数手配し、手持ちがなくなるとまた事業所に戻り指示を受ける対応でしたがモバイルを活用することにより現場にしながら指示書の収受や進捗状況に合わせた手配替えも可能となっています。



3. 災害への取組み（早期復旧施策）

【コミュニケーション支援ツール TV会議端末の導入】

- ◆各事業所にTV会議端末を配備し、台風復旧作業中は各事業所と24時間常時接続します。
- ◆被害状況の把握や部門全体への情報共有等、本店・支店双方のコミュニケーションツールとして活用しています。

DX80（TV会議端末）の導入



4. 事前周知活動・情報発信

【台風チラシの配布】

台風対策のチラシを作成し、農事用ビニールシート等の飛散対策や停電への備えについて、沖縄県農林水産部、J Aおきなわ、沖縄県花卉園芸協同組合へ毎年台風シーズン前に訪問し、啓蒙活動に取り組んでおります。

台風対策していますか？ ～沖縄電力からのお願い～

● 台風接近前の対策のお願い



台風時期の前に、ハウスや管理小屋の補修を終えましょう。



ネット等での固定や早めの撤去でハウスのビニールの飛散を防ぎましょう。



マルチはネットや土のうなどで押さえましょう。



不要なビニール・マルチ等は片付けましょう。



天気予報で台風をこまめに把握しましょう。

● 台風による停電



電線への樹木接触



強風による断線



垂れ下がった電線には触れない



絡みついたビニール・マルチ等は自分で取り除かないこと

危険です
垂れ下がった電線や電線に絡みついたビニール・マルチ等を発見した場合は、触らず、速やかに直営のコールセンターまでご連絡下さい。

停電への備えしていますか？



ラジオ、携帯ラジオは、停電時に貴重な情報源となります。



停電時、懐中電灯は必需品となります。



飲料水
ため水(生活用水)

集合住宅では、停電が発生した場合、ポンプが停止し、断水となる事もあります。

台風などに伴う停電情報について

停電情報配信サービス
(メール配信サービス)
お客様の登録いただいたメールアドレスに、台風時の停電情報をお知らせするサービスです。

地図表示サービス
パソコン・スマートフォンなどで停電情報(停電地域、復旧見込み等)を予約日ごとにご確認いただけるサービスです。

停電問合せサービス
パソコン・スマートフォンなどで、「お客様の停電状況のご確認」および「電線切断、電柱倒壊等の情報提供受付」が行えるサービスです。

チャット受付
テキスト画面により停電及び当社設備の不具合に関するお問い合わせが行えるサービスです。

停電情報自動応答サービス
0800-700-1030(フリーコール)
お客様の登録内容から音声認識を行い、該当エリアの停電状況・復旧見込み等を自動音声でご案内するサービスです。

くわしくはWEBへ！ 沖縄電力 停電情報 検索



停電に関するお問い合わせは
自動応答システム
● 0800-700-1030
(フリーコール)

コールセンター
● 那覇支店管内 0120-586-701
那覇市・読谷市・糸満市・豊見城市・金城市・八重瀬町
南風原町・糸島町・西原町・読谷郡・読谷町・読谷町
● うるま支店管内 0120-586-705
宜野湾市・沖縄市・うるま市・北谷町・嘉手納町
金沢町・北中城町・中城町・読谷町・読谷町
● 名護支店管内 0120-586-706
名護市・本部町・読谷町・本部町・読谷町・宜野湾市
今帰仁村・伊江村・伊江町・伊江町
● 宮古支店管内 0120-586-707
宮古市・多良間町
● 八重山支店管内 0120-586-708
石垣市・竹富町・与那国町
● 久米島支店管内 0120-586-709
久米島町
● その他離島地域 0120-586-700
南大東村・北大東村・渡名喜町・渡名喜町
鹿児島県奄美市(民4.7)

4. 事前周知活動・情報発信

【CM等による啓蒙活動】

台風シーズン前や台風襲来前にTVコマーシャルやラジオ等で、農事用ビニールシートの飛散対策について、放送を行い災害対策の**依頼・啓蒙**を行っております。

「TVコマーシャル絵コンテ」



(ナレーション)
：台風であられた
トタン、
ビニールシートなどの
飛来物は、
人や物にぶつかったり
停電の原因になります。



ワッターだけじゃ
守れないさー！



(ナレーション)
：事前に台風対策をお願いします。



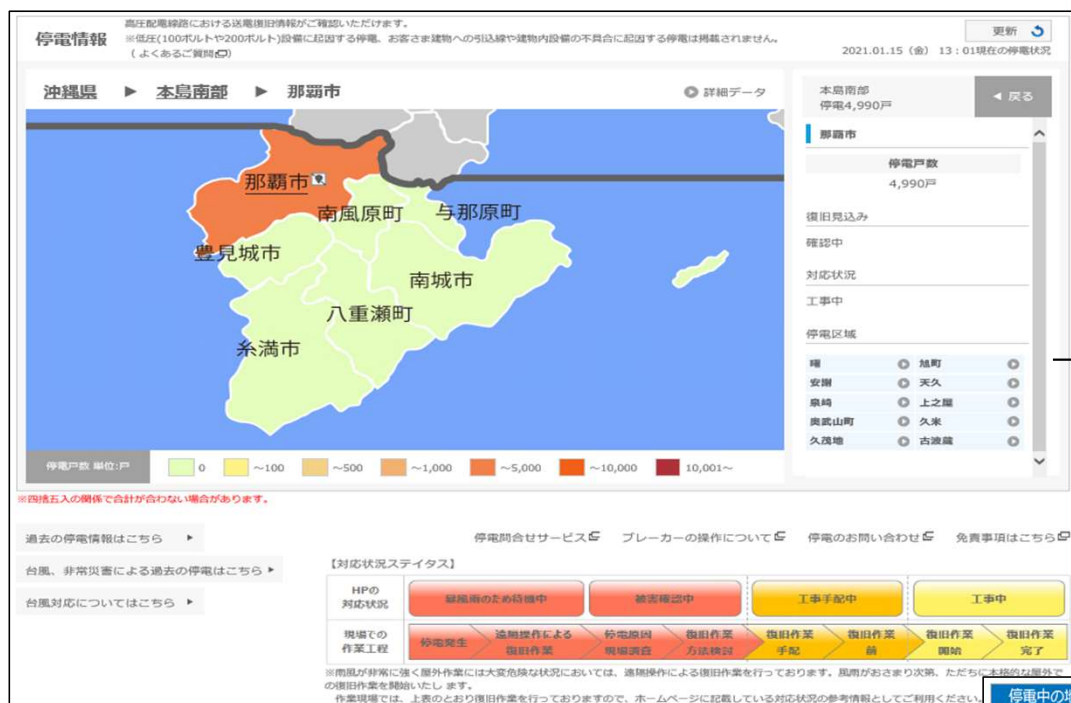
4. 事前周知活動・情報発信

【ホームページによる停電状況発信】

当社ホームページにおいて、**停電状況をリアルタイムで公開**しております。
停電情報表示エリアは、**字・丁目単位で確認可能**となっております。

ホームページ

地図表示(市町村)



- ・ 平時・災害時ともに停電状況をリアルタイムで公開
- ・ 2020年7月には、停電情報表示エリアについて、市町村単位の表示から、字・丁目単位へ精緻化

一覧表示(字・丁目)

停電中の地域				
2021.01.15 (金) 13:01現在の停電状況				
市町村名	停電地域 (一部または全区域)	戸数	対応状況	復旧見込み
那覇市	泉崎1丁目	500	被害確認中	確認中

4. 事前周知活動・情報発信

【SNSによる情報発信】

災害時は、**SNSを活用し**、事前対策や復旧作業の様子、毎正時の**停電状況等**を発信しています。

SNS

Facebook



事前対策・引込案内



復旧作業の様子

X (旧Twitter)



毎正時の停電状況

(事前対策や復旧作業も定期的に実施)

- Facebookについては、平時の事前対策やブレーカー操作、台風時の復旧作業の様子等を中心に発信
- X (旧Twitter) については、毎正時の停電状況を発信し、Facebookで発信する内容（復旧作業の様子等）についても定期的に発信

【その他】

新聞やラジオ等各種媒体も活用し、様々な世代のお客さまへの**効果的な情報発信**に努めております。

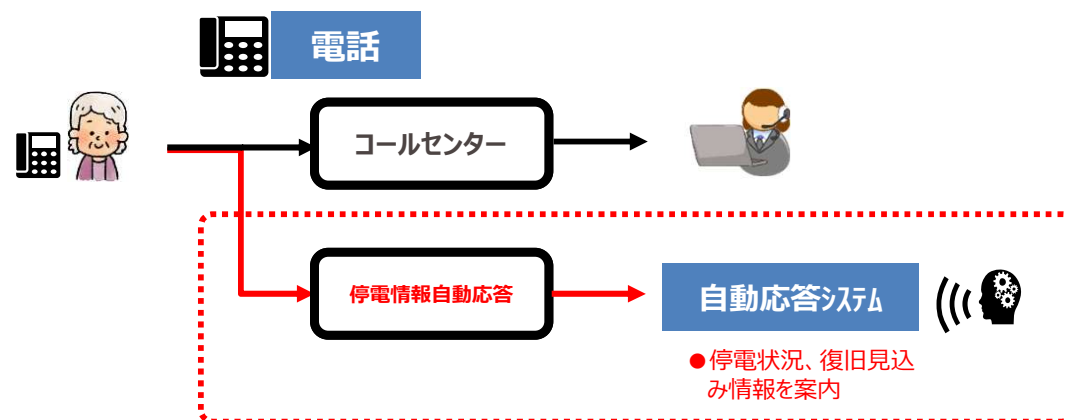
その他

- 台風シーズン襲来前に地元紙へ「台風対策のお願い」の新聞広告を掲載
- 台風時に、県域ラジオ及びコミュニティFMにおいて、ラジオのスポット放送を実施
(コミュニティFMについては、当社供給エリア全てと協定を締結済(18局))

4. 事前周知活動・情報発信

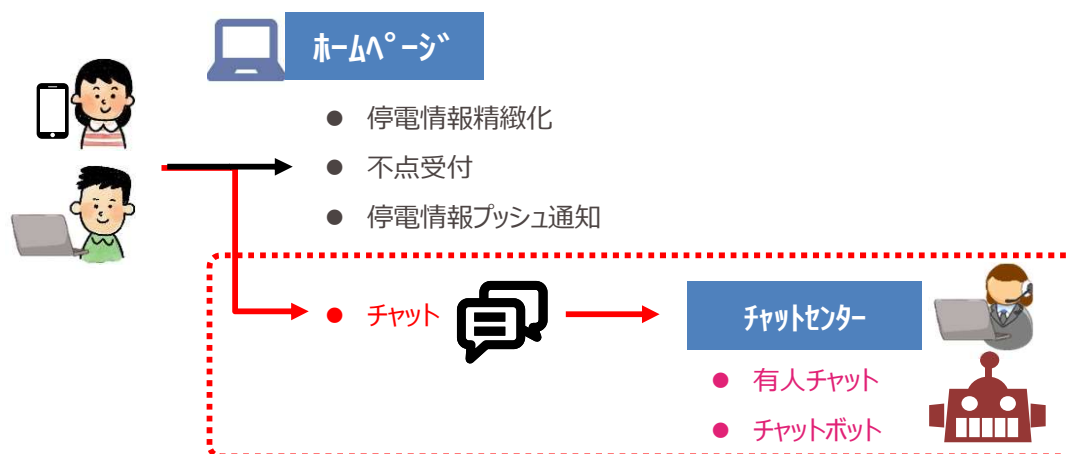
【お客さま問い合わせ対応の強化】

災害時におけるお客さま問合せの選択肢拡大および利便性向上を目的として、
「**停電情報自動応答システム**」および「**チャットセンター**」を2021年度より導入し、
災害時の情報発信を強化しております。



停電情報自動応答システム

- ・共通システムによる対応
- ・お客さまの発話内容から音声認識を行い、住所データと停電データを突き合せた結果を自動音声で回答



共同チャットセンター

- ・10社共通システムを用いて自動受付および有人オペレーターによるチャット対応
- ・各エリアで非常災害発生時には、全オペレーターが被災エリアのお問い合わせ対応を優先して実施